

ドキュメント作成日	2/18/2024 3:00 PM
Version	1.00
ドキュメントタイトル	Hoppenstedts Point And Figure for MT5 Install Manual
サマリー	MT5 で Hoppenstedts Point And Figure チャートを表示するソフトウェアのインストール方法、及び使い方
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MT5 が受信したデータから Hoppenstedts Point And Figure チャートを生成します。</li> <li>● MT5 と共有メモリで同期をとり、オフラインで価格表示できます。</li> <li>● MT5 でチャート表示できる全銘柄・全時間帯の表示ができます。</li> <li>● スクロール量調整が可能なため、過去のチャートの検証作業がしやすいと思います。</li> </ul>
既知の Bug	0.

本マニュアルはインストール方法、Bug などについて書いています。

#### ■動作環境

Windows 用の MT5 専用のアプリケーションです。

Windows 以外では動きません。

動作確認は Windows 11 Pro で行っています。

Windows 10 では動作確認をおこなっていません。

#### ■Bug Fix

2024/02/15 :    Ver1.00 :        初リリース

#### ■著作権・注意事項・免責事項

本ソフトウェア・文書の利用にあたり、著作権・注意事項・免責事項を承諾いただいたものとします。

本ソフトウェア・文書の著作権は作者である Retar.jp が保有しています。

投資は自己判断・自己責任でお願いいたします。本ソフトウェア・文書を使用し、取引をされ何らかの損失を被られても、Retar.jp では責任を一切負いません(間接的・付随的な障害・損失も含め一切の責任を負いません)。自己責任でご利用ください。

Retar.jp の Web サイトからダウンロードしたソフトウェアは本人利用に限り完全無料でご利用いただけます。ソフトウェア・文書の全てまたは一部の複製・コピー・リバースエンジニアリング・改変・2 次配布・商用利用・転売・販売等は一切禁止いたします。違反行為を発見した場合は法的処置を行います。

Retar.jp の Web サイト上で配布するソフトウェア・文書は無料提供ですのでサポートなどは行っておりません。万が一、ソフトウェア・文書に不具合や問題があっても当サイトでは修正・対応などができない場合があります。ご利用の環境でトラブルが発生しても助言することはできませんので自己責任でご利用ください。

■ 研究及び勉強するためのソフトウェアです

はじめに、トレードして儲けるためのソフトウェアではありません。

「MT4/5 に相当するものは、個人投資家でも作れる」と考える、きっかけになるはずで  
す。Retar は、外部向けにつくることで、内部で使用するソフトウェア品質の向上を  
目指しています。

## ■ サポート

ご質問、ご要望、Bug 情報等ありましたら、下記 URL までお寄せください。

Retar.jp Twitter

[https://twitter.com/retar\\_jp](https://twitter.com/retar_jp)

Retar.jp Web

<https://www.retar.jp/>

個別の問い合わせについて可能な限りお返事させていただきます。

個別にお返事が出来ない場合もありますので、何卒ご容赦ください。

Bug に対しては積極的に修正していくつもりですが、機能拡張への要望はお答えできないと思ってください。

## ■ 開発環境

V1.00 より

Microsoft Windows 11 Professional

Visual Studio 2022

## ■ 検証環境

Microsoft Windows 11 Professional

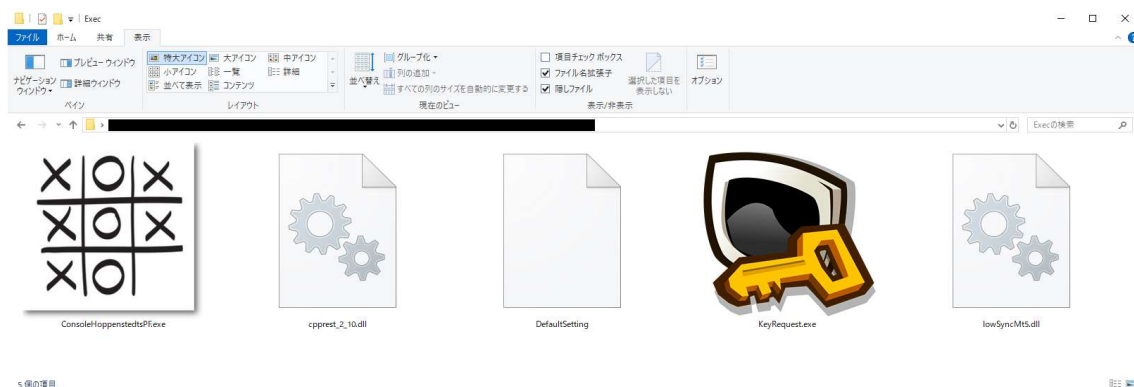
## ■ インストール

圧縮ファイルには Indicator フォルダに 2 つ、Exec フォルダに 5 つ、合計 7 つのファイルが含まれています。

### Indicator フォルダの中の 2 つ



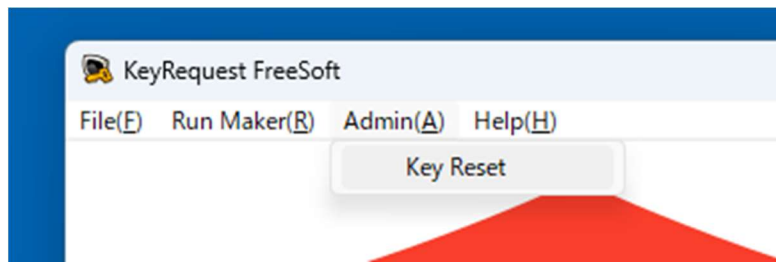
### Exec フォルダの中の 5 つ



## ■旧バージョンのアンインストール

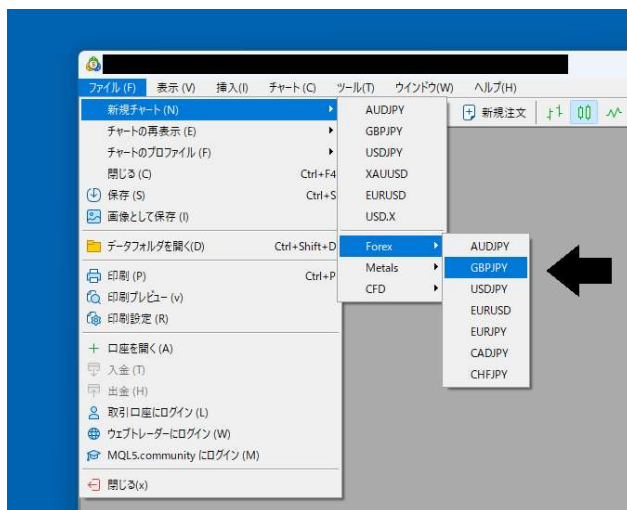
インストーラを作っていないため、インストールした7つのファイルを消し、TPM2.0 キーを消すだけ。

- ① Admin -> Key Reset から OK を複数回押して TPM2.0 キーを消します。
- ② レジストリへの書き込みがないため、ファイルを消せば、アプリケーションはクリーンに消えます。



## ■インストール

1. インストール可能な Windows 版 MT5 を用意します。  
本番のアカウントでも使用可能ですが、チャートを見るだけならデモアカウントで十分です。
2. 「ファイル」メニューから Indicator を動作させる銘柄を選択します。はじめは USDJPY (ドル円)、GBPJPY (ポンド円) などがおススメです。GBPJPY で説明していきます。



3. はじめは1時間足が表示されます。





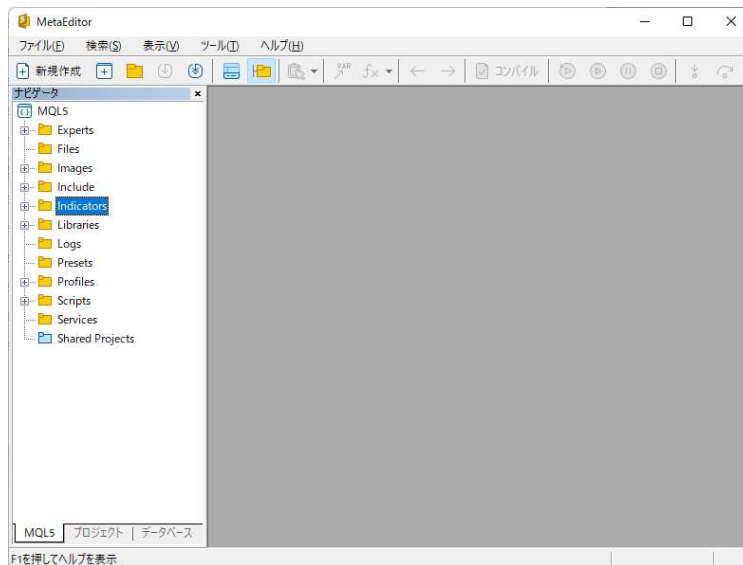
4. 表示を日足に変更し、好みのロウソク足の表示にします。  
使用可能な時間帯に制限はありませんが、動作の理解のために日足を使います。



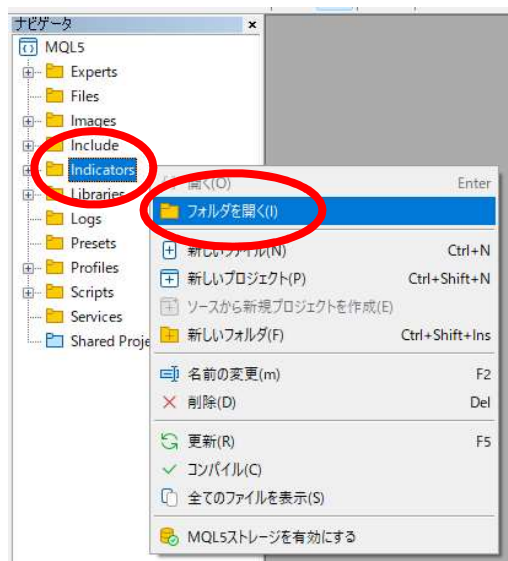
5. ここからはチャートを表示するための Indicator を設置します。「F4 キー」または「IDE」のボタンをクリックします。



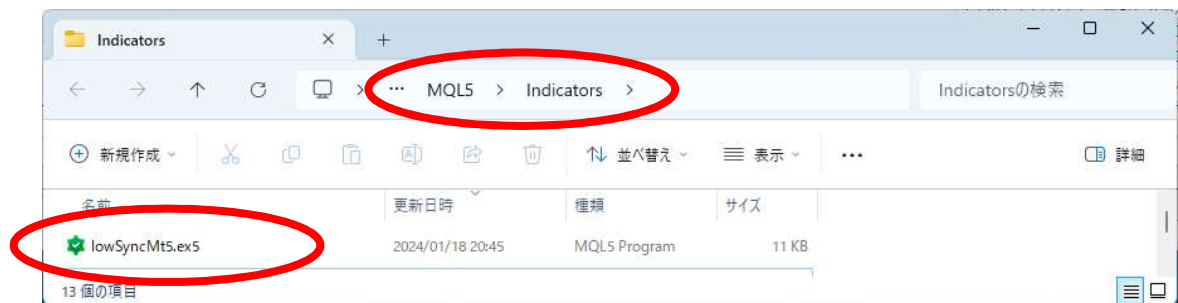
6. MetaEditor が表示されます。



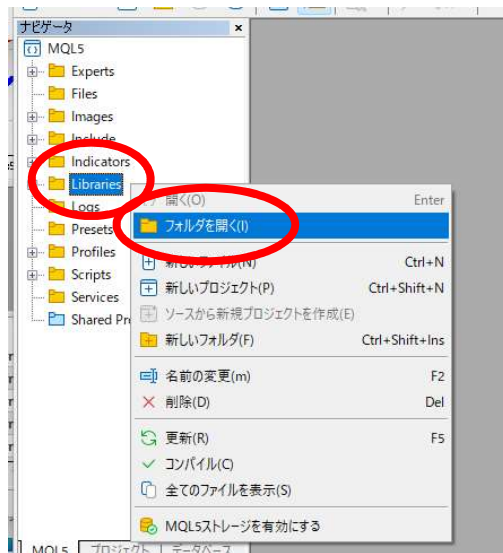
7. 「Indicator」のフォルダの上でマウスの右ボタンをクリックし、「フォルダを開く」を選択します。



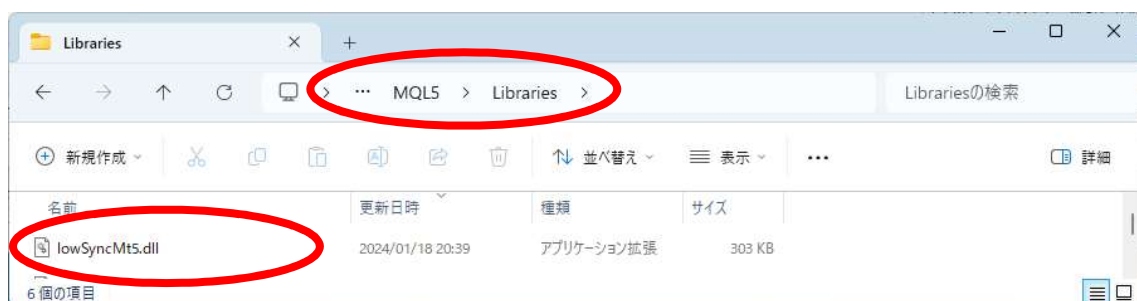
8. エクスプローラーが起動してくるので、フォルダの中に「lowSyncMt5.ex5」をコピーします。



9. 「Libraries」のフォルダの上でマウスの右ボタンをクリックし、「フォルダを開く」を選択します。



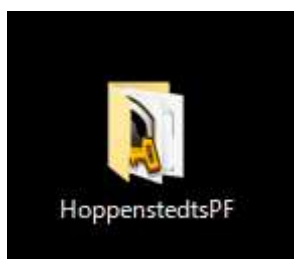
10. エクスプローラーが起動してくるので、フォルダの中に「lowSyncMt5.dll」をコピーします。



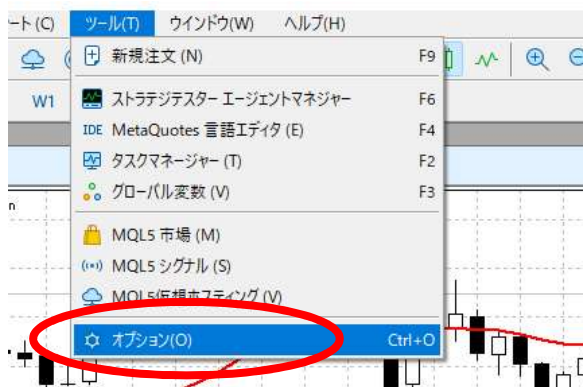
11. 圧縮ファイルに含まれる「Exec」フォルダをわかる場所に解凍します。  
実行ディレクトリに制限はないため、分かりやすいディレクトリで構いません。



12. 解凍後、フォルダ名はわかる名前にして構いません。  
内部に含まれるファイルの名前は変えないこと。  
動かなくなります。



13. MT5 の「ツール → オプション」を開きます。



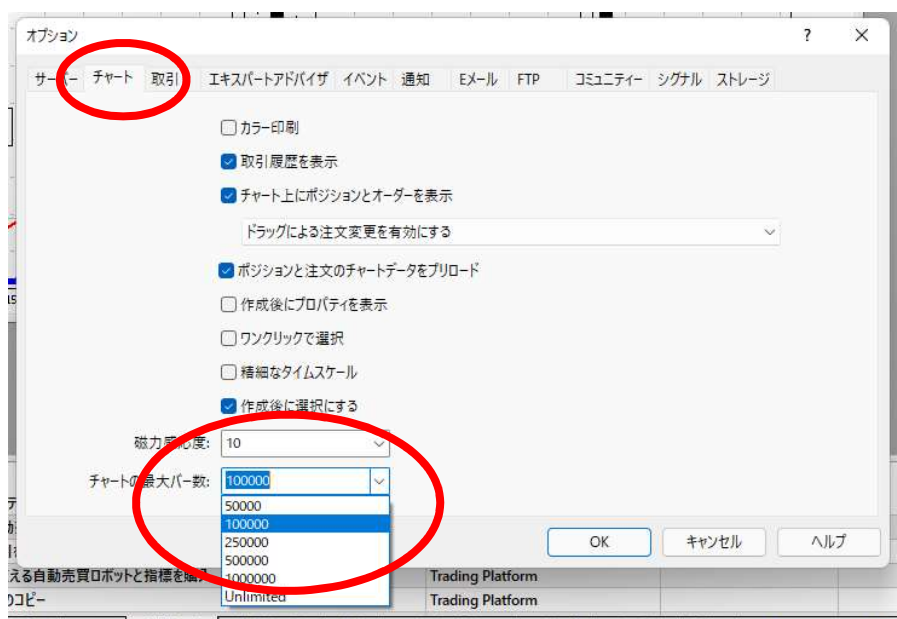
14. オプションダイアログが出て来るので、「チャート → チャートの最大バー数」を変更します。

初期値は「100000」で、1分足で約 3 カ月半のデータまで遡ることができます。

より過去のデータが見たい場合は、数字を大きくしてあげます。

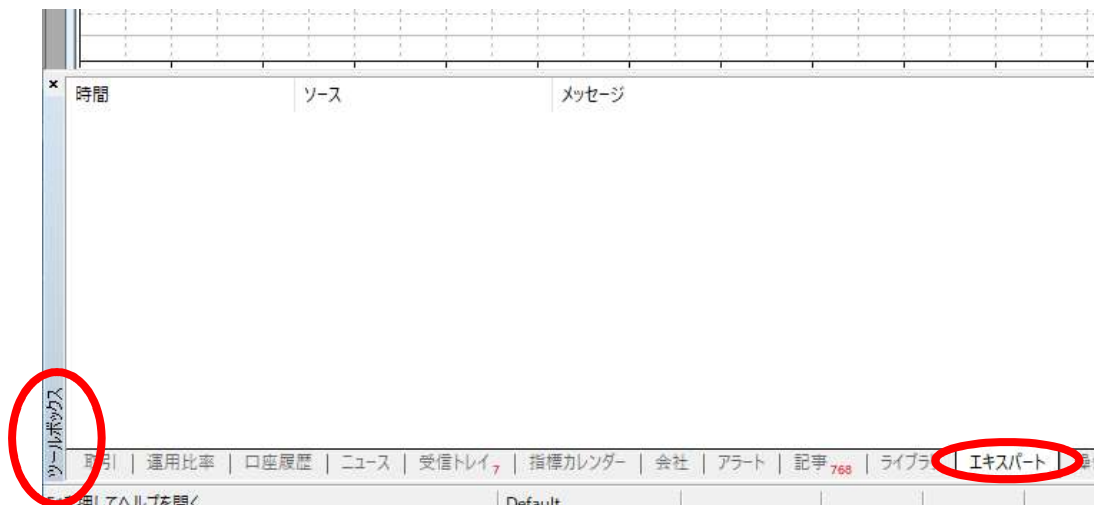
PC のスペックが低い場合は、小さい数字にしてあげます。

直近のデータだけで十分の場合は「20000」ぐらいが適切だと思います。

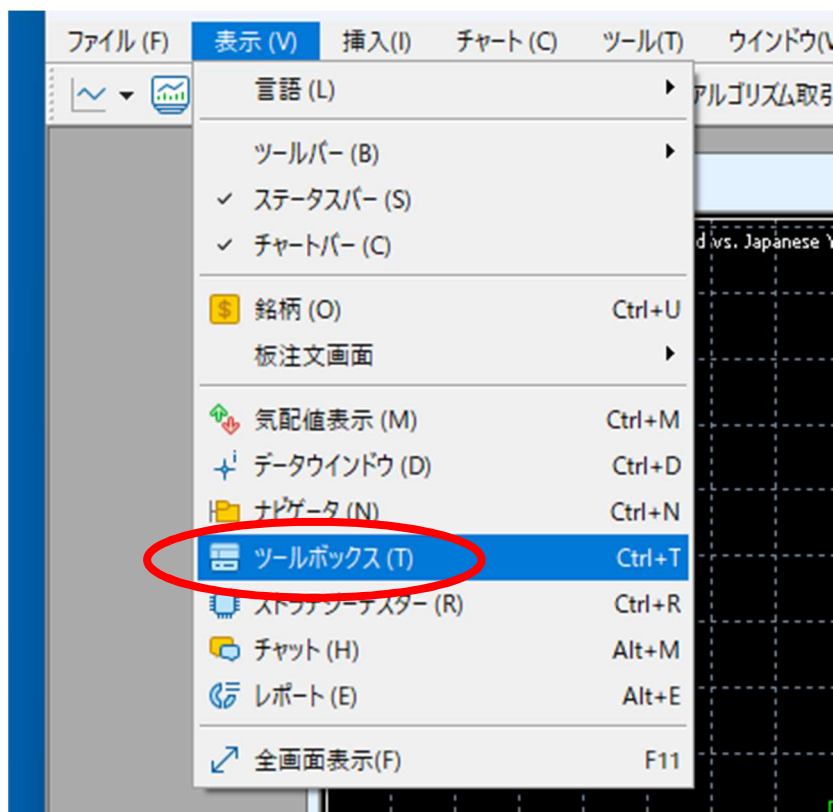


15. オプションの設定と Indicator を反映させるために MT5 を再起動します。

16. 「ツールボックス → エキスパート」を表示させます。  
起動時のメッセージが表示されるので、出しておきましょう。

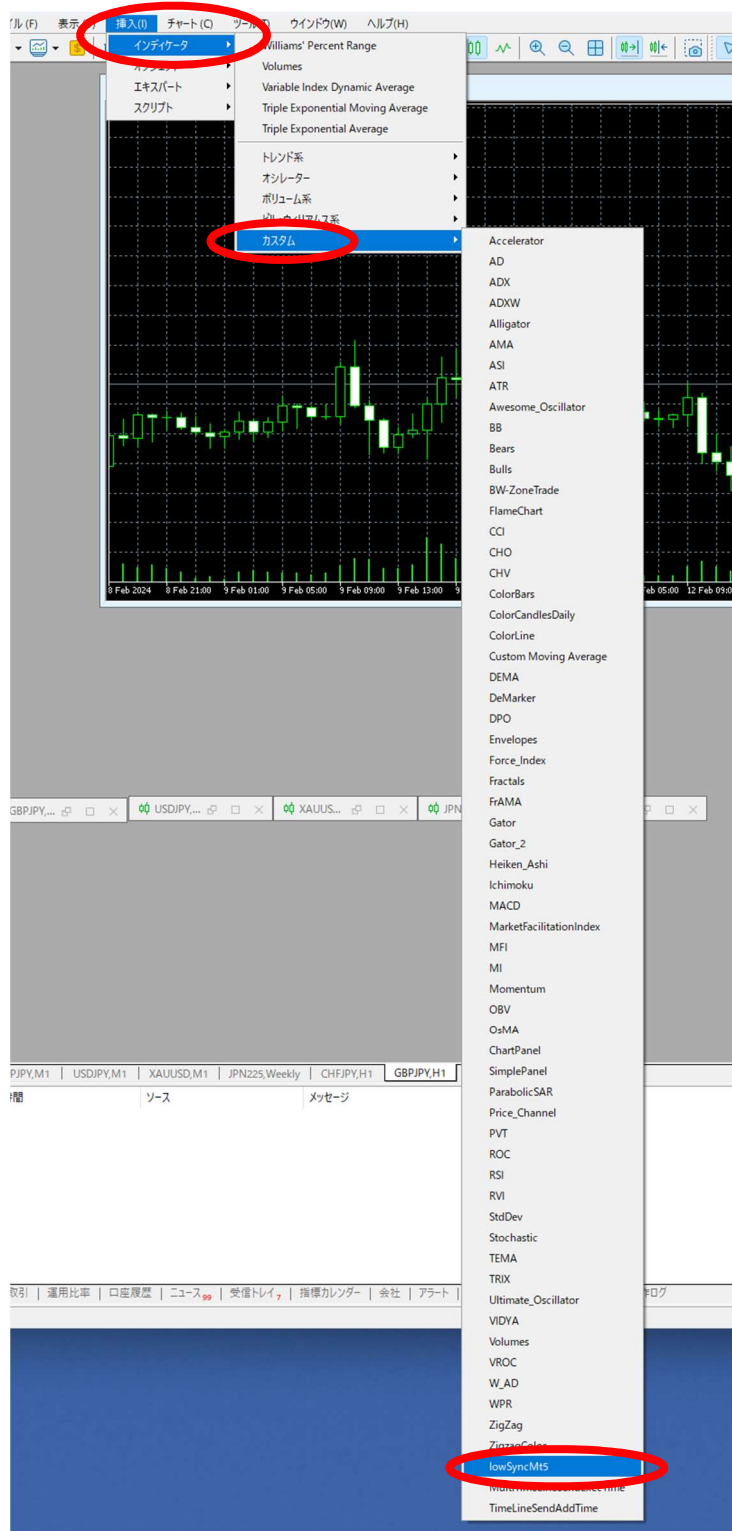


ツールボックスが表示されていない場合は、表示→ツールボックスから。



17. 再起動後に1分足に Indicator を追加します。

「挿入 → インディケーター → カスタム → lowSyncMt5」を選択します。







◆注意事項

① 2つ以上の Indicator は設置できません

共有メモリの領域が固定であるため、1つしか Indicator を設置できません。

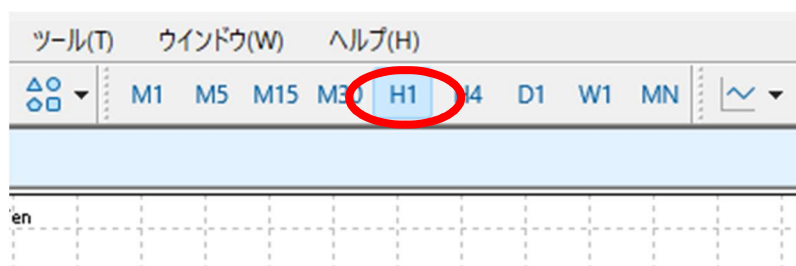
例えば「ポンド円とドル円を同時に見たい」はできません。

② 同期ずれの発生は MT5 の構造上直せませんが、対策があります。

時間設定を使って変更できます。

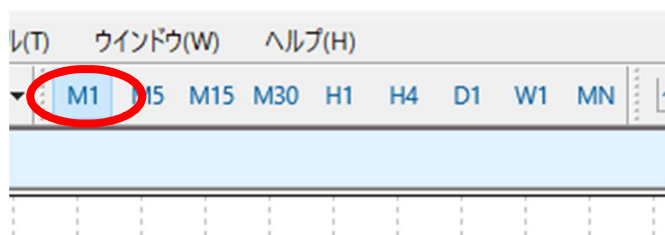


1 分足を参照していましたが、1 時間枠など別の時間枠に設定する。



1 分足に設定しなおして、チャートを起動してください。

同期されています。



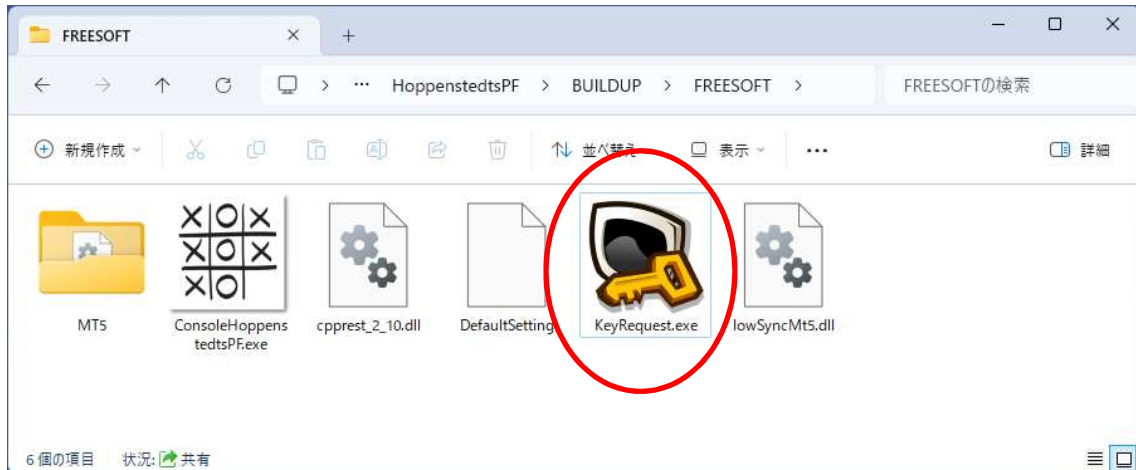
## ■ 認証

ソフトウェアのライセンス認証をおこないます。

認証は必ずインターネットに接続された状態でおこなってください。

「KeyRequest.exe」をダブルクリックします。

KeyRequest マネージャーは、Point And Figure の起動制御、認証に利用します。



「認証して良いか？」ダイアログが表示されます。



数秒で「認証作業終了」ダイアログが表示されます。

「はい」または「いいえ」を押すと、一度、プログラムが終了します。

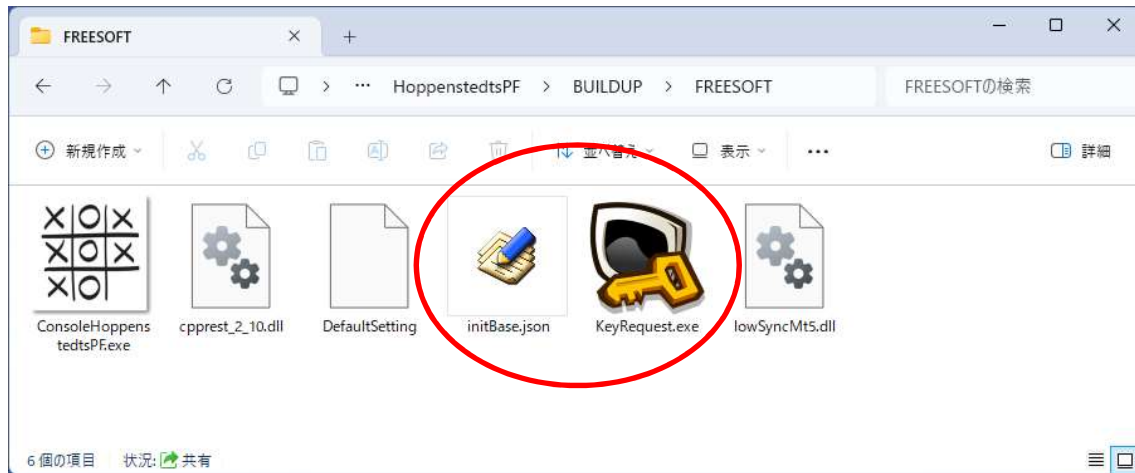
この時点で TPM2.0 キーが作成されます。



再度、「KeyRequest.exe」をダブルクリックします。

認証で「initBase.json」が生成されていますが、暗号化された ID です。

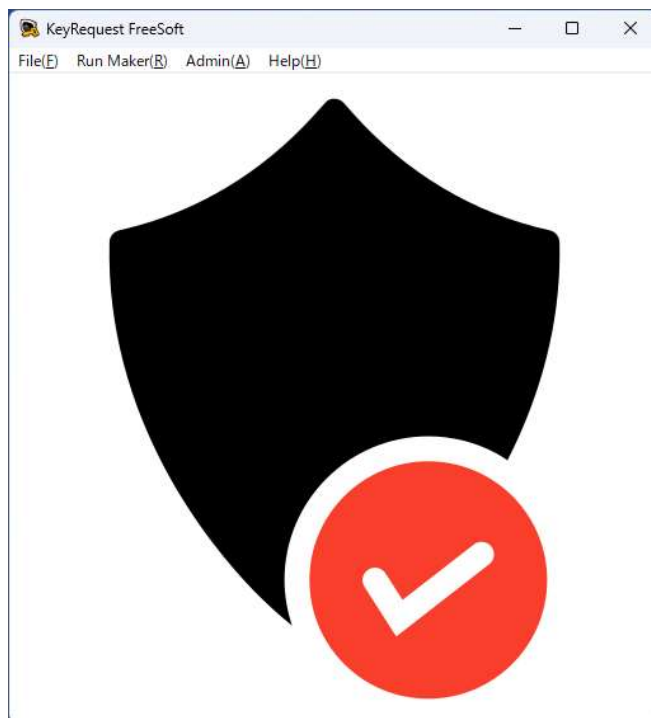
起動しなくなるため編集しないでください。



KeyRequest マネージャーが起動します。

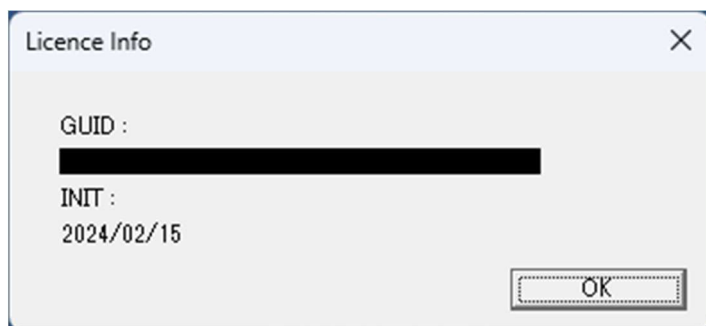
表示されている絵が仮認証状態を表します。

認証されていなければ、全メニューが使用できません。



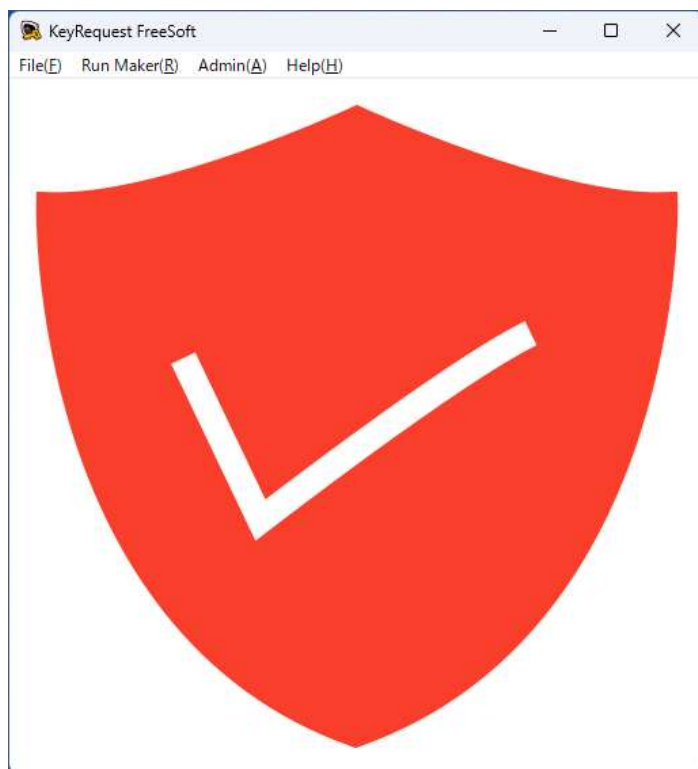
認証されないとおおよそ 30 日で使用不可能になります。

「Help -> Key Stats」の INIT でインストール日時が確認できます。

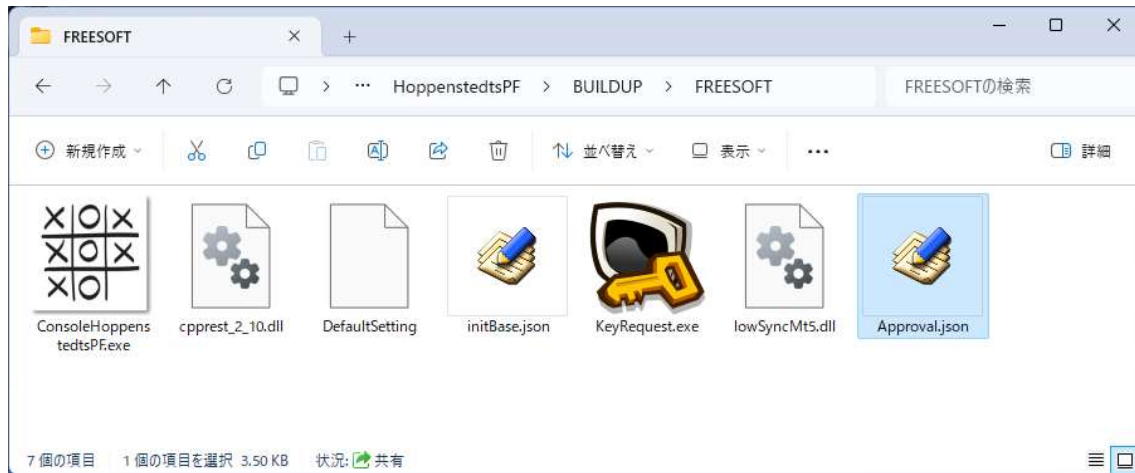


数日後に認証ファイルが用意されると、赤い絵に変わります。

全メニューが使用可能になります。



認証が成功すると「Approval.json」ファイルが生成されます。  
このハードウェア専用のライセンスファイルになります。  
起動しなくなるため、編集しないでください。



#### ◆起動の仕組み

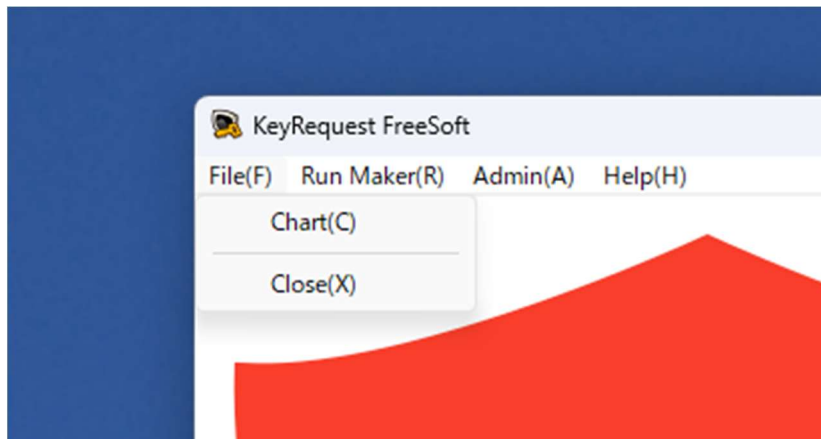
Point And Figure の起動時のオプション、 起動制御を KeyRequest.exe からおこないます。

Point And Figure のプログラム「ConsoleHoppenstedtsPF.exe」とは、暗号通信しており、KeyRequest.exe がないと起動できません。

- 「File」メニュー

「Chart」を選択すると、別ウィンドウ Point And Figure が表示されます。

「Close」を選択すると、終了します。



- 「Run Maker」メニュー

「Box Reverse」は、転換枠です「3、4、5 枠」の転換が選べます。

「Data Expand」は、OFF のみで終値ベースです。

「Show Lines」は、表示する行数。

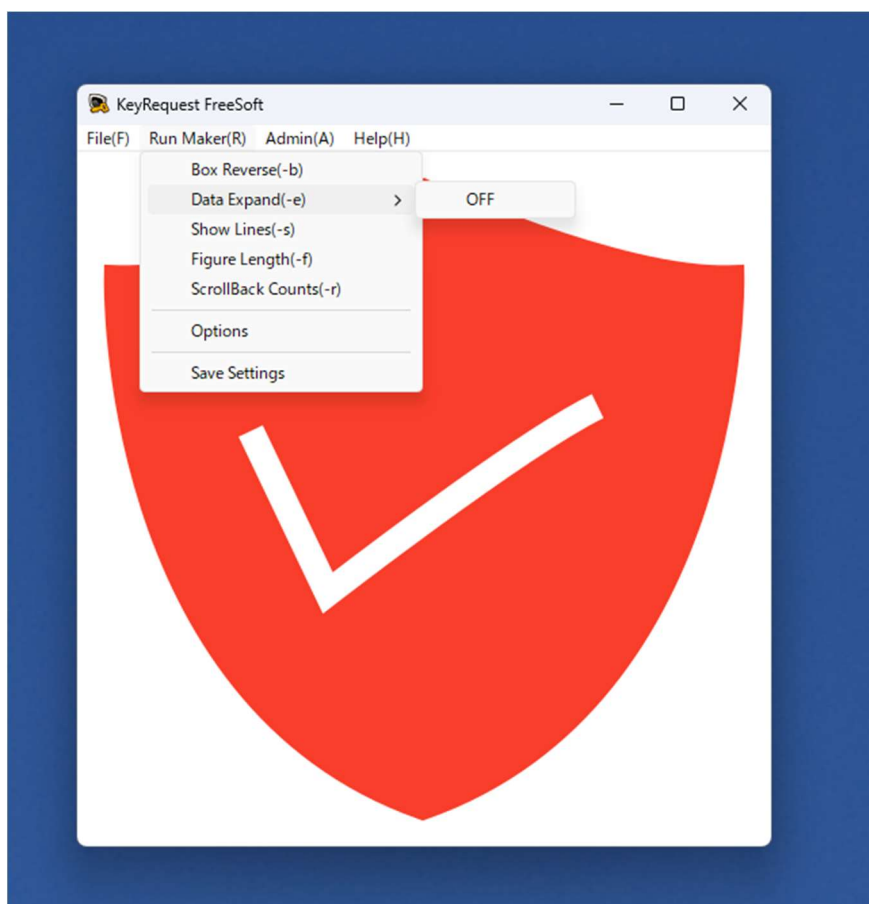
「Figure Length」は、表示する数字の小数点以下の桁数。

「ScrollBack Counts」は、スクロールバックするときの行数。

「Options」は、起動オプションで、起動時の設定値がわかります。

「Save Settings」は、設定の保存に使用します。

設定は、同一ディレクトリに含まれる「DefaultSetting」ファイルに保存され、起動時に読み込まれます。



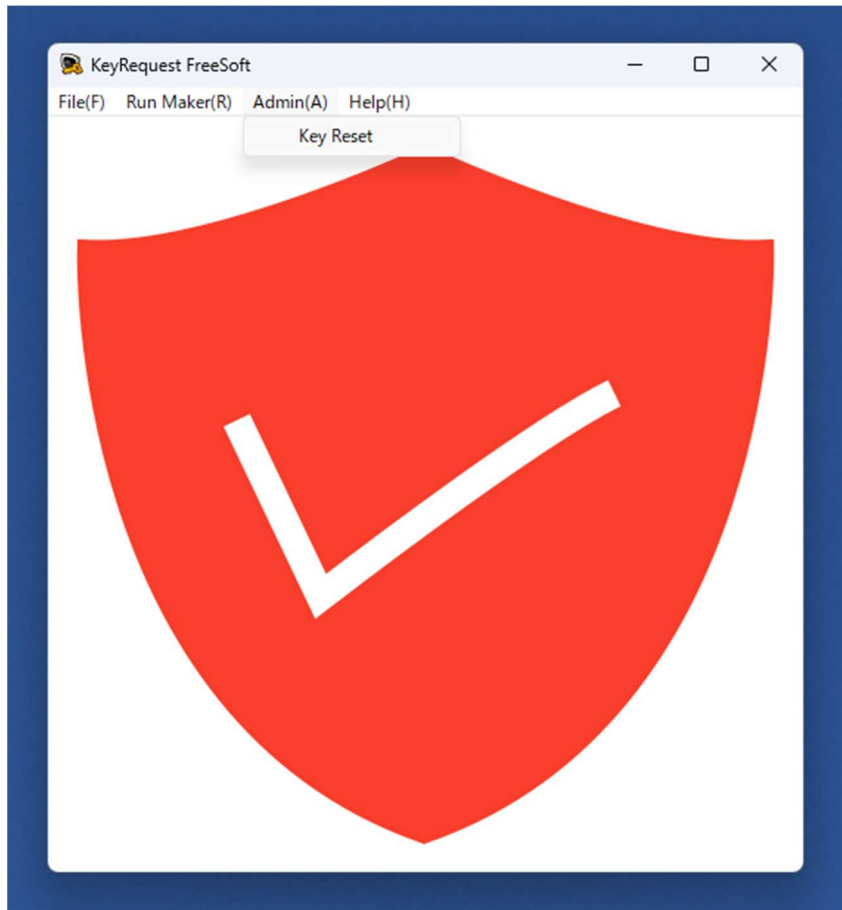
- 「Admin」メニュー

「Key Reset」は、認証キーをリセットするために使用します。

キーをリセットすると、「Approval.json」と「initBase.json」が無効になります。

数回の確認が必要なので、誤って操作しづらい仕様にしてあります。

再度認証が必要になるため、十分注意してください。

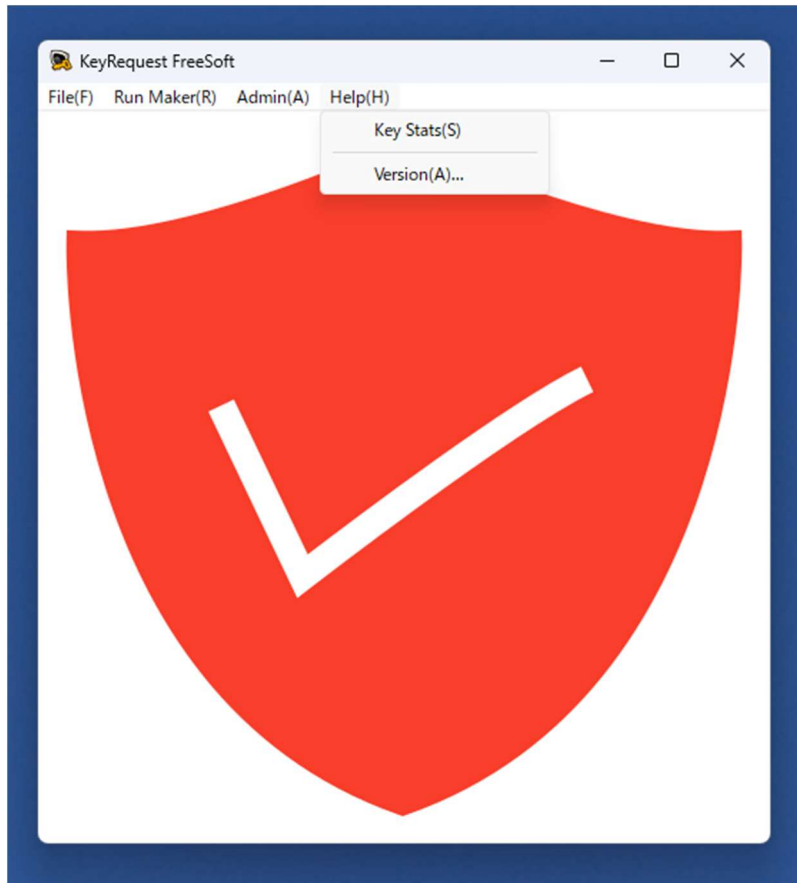




- 「Help」メニュー

「Key Stats」は、キーの状態を確認してください。

「Version」は、バージョン確認です。

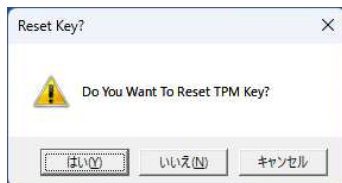


- アンインストール

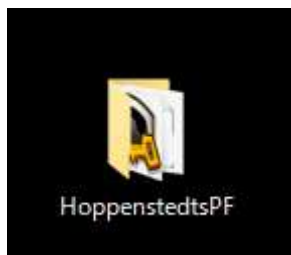
「Admin -> Key Reset」を選択する。



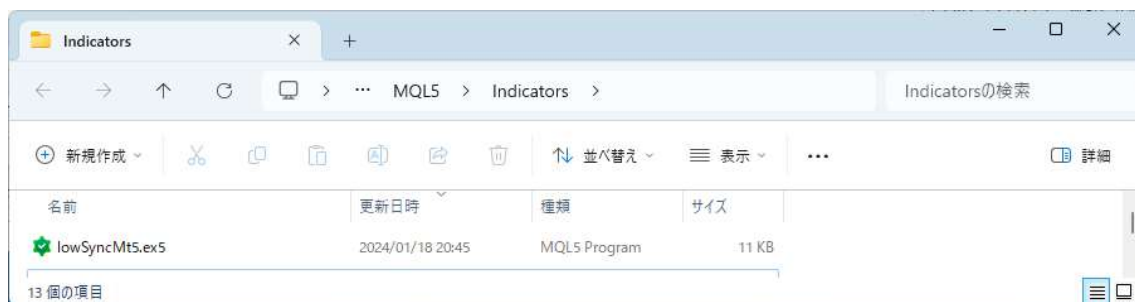
複数回ダイアログが出てくるので、「はい」と答える。  
途中で「キャンセル」、「いいえ」とすれば、中止できます。



フォルダを捨てます。



「lowSyncMt5.ex5」を削除します。



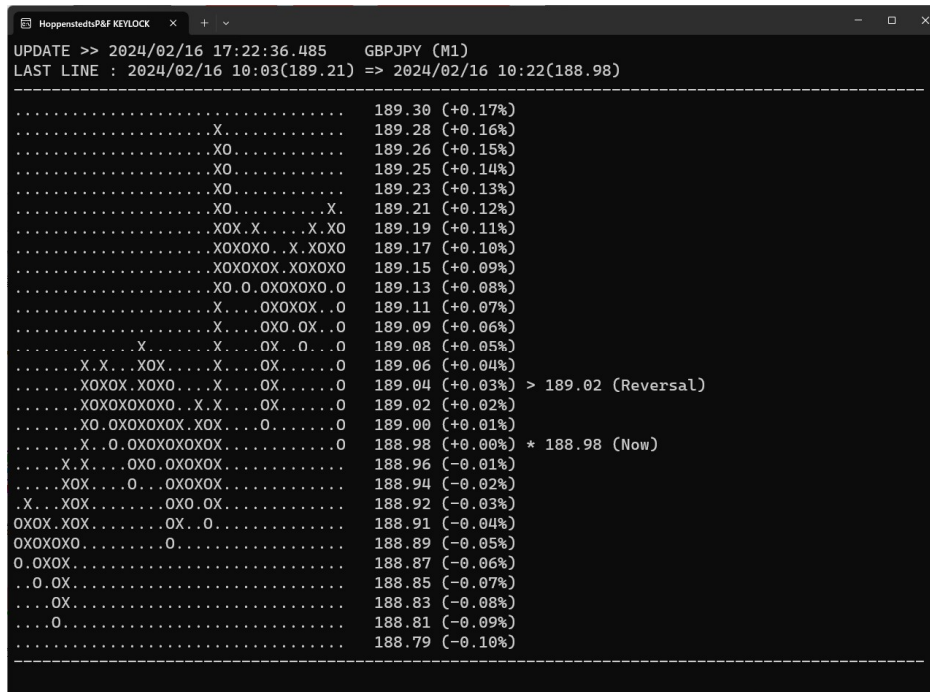
「lowSyncMt5.dll」を削除します。



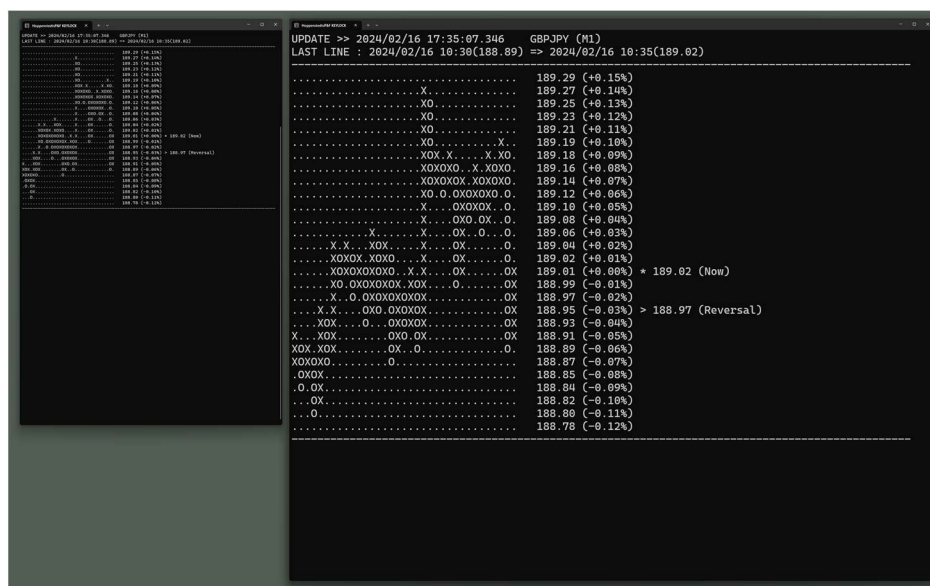
- Point And Figure の操作

起動直後は Point And Figure が表示されます。

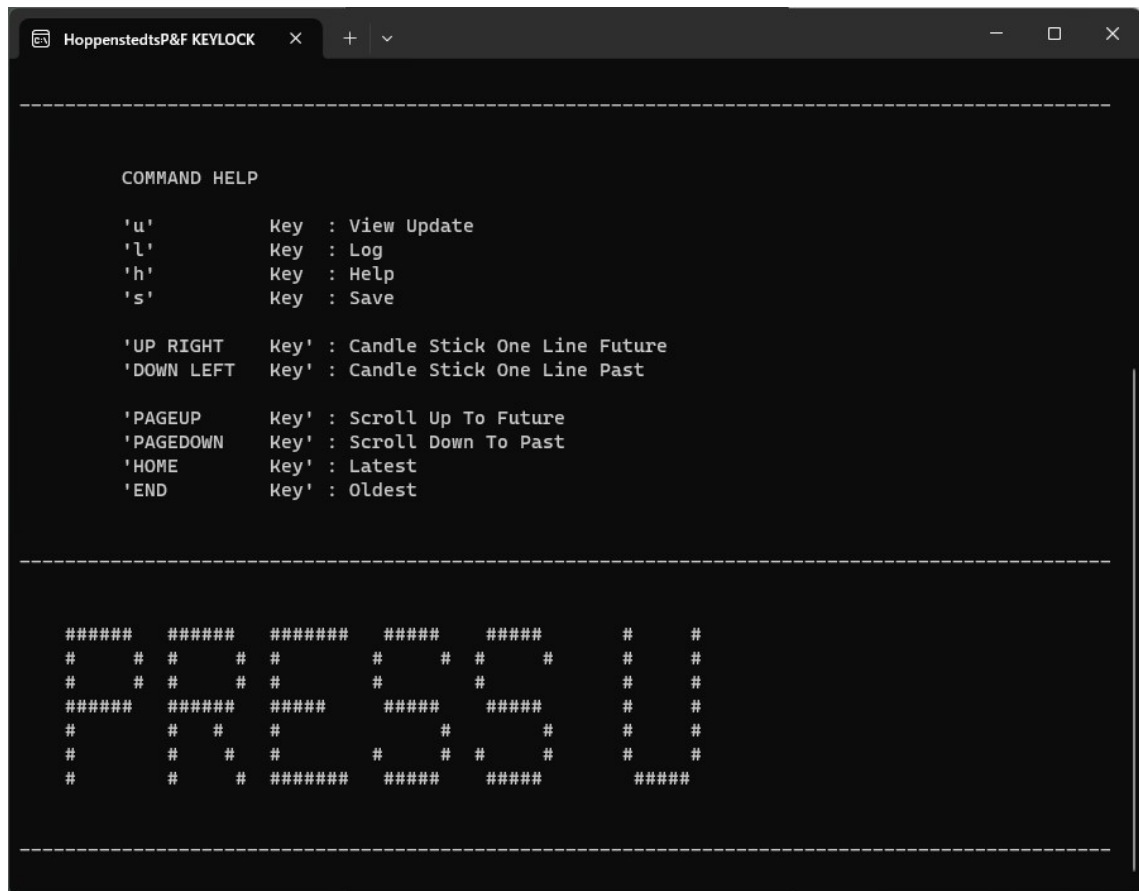
操作はキーボード、または、ゲームパッドでおこなえます。



コントロールキーを押しながらマウスのホイールを回すと表示サイズを変更できます。



- 「h」キーを押すと Help が表示されます  
問題があると思うときは「u」キーを押して、アップデートしてください。



「u」キー	アップデート
「l」キー	起動ログ
「h」キー	ヘルプ
「s」キー	保存キー(CSV フォルダに 4 本値が保存されます)
「上矢印」キー	未来ヘスクロール
「下矢印」キー	過去ヘスクロール
「PageUp」キー	未来ヘスクロール
「PageDown」キー	過去ヘスクロール
「Home」キー	最新データ
「END」キー	最後のデータへ移動

- Free 版は機能限定版  
認証機能の確認のためのリリースです。  
フル機能版が必要な方は相談を。